

甚大な災害被害、 生き延びる「覚悟」と「準備」 あなたはできていますか？



写真提供：国土交通省中国地方整備局




写真提供：神戸市

備える。今のうち。

<風水害・大地震から命を守る家庭の「備え」ガイド>



← 防災情報収集に役立つ茅ヶ崎市ホームページ「防災・緊急情報」はこちら

 茅ヶ崎市防災対策課・茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

令和5年7月作成

風水害から命を守る「備え」

台風や大雨による災害は年々激甚化し、各地に大きな被害をもたらします。気象情報はテレビやラジオ、スマートフォンなどで数日前から予報を確認できることから、台風の進路や大雨警報などの防災気象情報を収集することが自身の安全を守るためにとても大切です。

早めの対策を講じることで、風水害による被害を軽減することができます。

日頃の備え

ハザードマップで浸水想定区域やがけ崩れの恐れがある危険な箇所を確認し、避難場所や避難経路を家族などで共有



気象や避難に役立つ情報を直ぐに入手できるよう、情報源となるインターネットサイトなどの確認、画面の操作方法を予習



家の中の備え

窓ガラスの飛散防止



停電・断水時のための備蓄

非常時持出品の確認



家の外の備え

雨水をしっかりと排水できるよう
雨樋や側溝、排水溝を定期的に清掃



飛来物の危険から身を守るため
窓や雨戸を閉める



強風で飛びそうな物を固定、
家の中へ収納



気象・防災情報を確認、避難は状況に即して判断・行動

テレビやラジオなどで最新の気象情報を確認

防災行政用無線、防災ラジオ、スマートフォン（市HP・メール配信サービス・SNS）などで防災情報を確認、危険が身に迫る前に直ちに避難



警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保 ①
〜<警戒レベル4までに必ず避難！>〜	
4	避難指示 ②
3	高齢者等避難 ③

引用元：内閣府

大地震から命を守る「備え」

被災するのはあなた自身。

大地震が発生する確率は年々高まっており、決して遠い地域で起こり得る「他人事」ではありません。

まさに、備えあれば憂いなし。大地震による被災は自らの身に生じる事態と認識し、**平時のうち**に「備え」に取り組むことが大切。

自分や大切な家族の命を守るため、今のうちに家庭で「備え」しましょう。

揺れへの備え

大きな家具が倒れるのを防ぐため、突っ張り棒などで家具を固定



引用元：東京消防庁

寝ているときに家具が自身に倒れてこないよう、家具の位置や向きを変更



引用元：東京消防庁

津波への備え

津波の危険から身を守るため、津波ハザードマップで浸水想定区域を事前に確認



津波発生の際の危険が生じたら、海から直ちに離れ高い安全な場所へ避難



高台に避難
してください



火災への備え

停電による電気復旧後の通電火災を防ぐため、自宅に感震ブレーカーを設置



火災が発生し初期消火を行えるよう、消火器などを準備、取扱方法を確認



避難生活を支える「備え」

忘れがち...。
トイレ備蓄は必需品！



ラジオ（手動充電式が便利）

懐中電灯・ランタン

カセットコンロ・ボンベ



乾電池

モバイルバッテリー



ポータブル電源（停電時があると安心）

水・食料（特にアレルギー対応品）

離乳食・おむつ・生理用品



給水袋

携帯トイレ（凝固剤セット）・簡易トイレ

トイレットペーパー・ティッシュペーパー

歯ブラシ・シャンプー（水不要品が便利）

紙皿・割りばし

透明のラップ・アルミ箔



ウェットティッシュ

使い捨てカイロ

軍手・手袋

薬・救急用品

マスク・消毒液

現金（スマホ決済は使用できない恐れあり）



備蓄のポイント！

これで安心。
ローリングストックを活用！

日常生活で備蓄を使用、常に新しいものに入れ替え

いざというときの賞味期限切れを防いだり、
災害時も日常生活に近い食生活を送ることができる



市では大きな災害に備え、水や食料、簡易トイレなどの必要物資を市内の防災拠点に備蓄していますが、それらの種類や量には**限り**があります。

避難所に行けば必ず物資を受取れるわけではありません。「なんとかなるかも」と**安易に思い込まず**、自分の生活を支えるための「備え」を進めてください。

備蓄はできる限り7日分（最低3日分）を準備！